

平成24年度教育委員会事務点検評価(平成23年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	16
事務事業の名称	中学校社会体験チャレンジ事業	担当部課	教育委員会 学校教育部 教育指導課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5652
実施期間	平成 13 年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施根拠	個別計画の名称
	2節 学校教育の充実		
	施策 44 教育内容の充実		
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	子ども達を取り巻く環境が変化の中で、勤労観や職業観の未熟さや社会性の欠如等により、ニートやフリーター、早期離婚者が増加するなどの問題がおきている。このため、子ども達に正しい職業観や勤労観、社会性を身につけさせることが急務となっている。		

2 事務事業の目的・内容

目的	学校・家庭・地域社会が連携し、生徒に正しい勤労観や職業観、社会性を身につけさせるために、社会体験事業を実施する。		
対象	全中学校		
活動内容	進路・キャリア教育の一環として行われる体験活動。勤労観、職業観の形成、自己の可能性や適性の理解、学ぶことの意義の理解と学習意欲の向上等をねらいとする。地域の事業所において、事前事後学習の加え、事前訪問をふくむ4日間の体験を10校のべ3700人が行った。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	継続	
環境配慮	各事業所に生徒が赴くことで、活動先の環境配慮を学び、学校で活用できるものを取り入れる。		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	中学校社会体験チャレンジ事業の実施校数	目標値	校	10	10	10	10	全中学校10校で実施する
		実績値		9	9	10		
		達成率		90.0%	90.0%	100.0%		
(成果指標)	中学校社会体験チャレンジ事業への参加率	目標値	日	3	3	3	3	参加生徒一人あたりの平均参加日数(全参加延べ日数/参加生徒)
		実績値		3	4	4		
		達成率		100.0%	133.3%	133.3%		

4 事業費

区分		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
経費	直接費	予算額	千円	350	350	350	250
		決算額	千円	443	397	430	
	財源内訳	国県支出金	千円	45	85	92	
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	398	312	338	
	人件費	従事職員数	人	0.07	0.07	0.07	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	644	629	630	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	1,087	1,026	1,060		
効率性指標	指標名	チャレンジ事業実施校数	校	9	9	10	※1単位当たりの経費
	単位コスト	実施1校当たり経費	円	120,800	114,000	106,000	

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	様々な事業所での社会体験活動や人々との触れ合いは、社会性や自立心、正しい勤労観や職業観を育成する上で効果的であり、実施することの実用性は高い。
		前年度 4	
	有効性	4	全中学校で実施することができ、直接的な効果とともに、中学校の生徒を地域社会が受け入れることにより、学校と地域との連携が深まり、開かれた学校づくりにも寄与することができた。
前年度 4			
効率性	・手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化 など	4	教職員が各事業書と連携調整を図るとともに、事業所の協力も得て、経費も最小限にとどめ、効率的に実施することができた。今後も、より多くの事業所の協力を得ていきたい。
		前年度 4	
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 現行の内容に工夫と改善を加えながら継続する。		

6 その他(学識経験者の意見等)

必要度の高い事業と考えられる。仕事をする、職業に従事することに対する意識と経験が少ない生徒に、多様な職業を示し、働くことの意味や意義を理解・体験させるためには、地域の様々な事業所、団体、個人との連携・協力が求められる。各学校や教員をサポートする体制を用意する必要があると考えられる。また、「農業体験宿泊学習」の実施校が少ないが、学校・保護者との十分な打ち合わせ等が必要なのではないか。